

研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称： Le Fort I 型骨切り術における上顎骨の垂直的移動量計測に関する研究
(承認番号 EC19-012)

研究機関の名称： 学校法人日本大学 (松戸歯学部・顎顔面外科学講座)

研究責任者： 助教 枝 卓志

研究期間： 令和元年 10 月 9 日から令和 6 年 10 月 8 日

1. 研究対象者

2009 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで当院で顎矯正手術を施行した患者

2. 研究目的・意義

近年、顎変形症の治療技術の進歩に伴い、安定した咬合やより審美的な顎顔面形態を得るために上下顎移動術が多用されています。上顎骨骨切り術では上顎移動骨片の位置決めが非常に重要であり、術前に計画した上顎骨の位置がある一定範囲内の精度で手術中に再現されなければなりません。本研究は facial core ERP 使用の有無により、垂直的移動量の精度向上に寄与することにより、上顎骨のより審美的で安定した咬合を得ることができるか検討する。

3. 方法

当科で顎矯正手術である Le Fort I 型骨切り術を施行した患者の facial core ERP 使用の有無によって 2 群間 (facial core ERP 使用; 約 20 人 facial core ERP 使用せず; 約 20 人) に分け、側貌セファロ写真のナジオンから上顎切歯ブランク下縁までの予定移動量と術後の実際の移動量を計測し、誤差がどれくらいあるのか、さらに被験者特性、側貌セファロ写真から計測した角度や距離についてもカルテおよび側貌セファロ写真の出力をすることによりデータを収集します。

4. 研究に利用する試料・情報等

試料：術前・術後に撮影した側貌セファロ (レントゲン写真)

情報：診療録情報 (年齢・性別・側貌セファロより計測した距離および角度 等)

5. お問い合わせ先

本研究は、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、資料や情報等に匿名化処理を行い、安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・顎顔面外科学講座・助教・枝 卓志

電話番号： 047-360-9397

以 上